



5・6年生児童一人一人が輝いた「校内陸上記録会」

コロナ禍で2年連続で中止になった行方市小学校親善陸上記録会。今年度も6年生にとっては大きな行事の一つが実施できなくなってしまいました。「6年生に北浦小学校の代表として競技する経験や、5年生に学校代表という責任を感じる機会をつくりたい」という思いで、20日に校内陸上記録会を実施しました。

1 イベント化したからこそ見えた「真の実力」

当日は、5・6年生ともゼッケン・ハチマキをつけ競技しました。開閉会式も実施し、実行委員児童の始めや終わりの言葉、進行もしっかりとできました。競技においても親善陸上記録会と同じように各担当教師がコールし、返事をして競技に参加しました。会場こそ本校グラウンドですが、1～4年生児童や家族の応援があり、ゼッケン・ハチマキは本番意識を高めてくれていました。各競技に取り組む児童の姿はとても素晴らしく輝いていました。自己ベストの記録を出した児童もたくさんいました。



2 3・4年生の応援・1・2年生の声援が力に

開会式の中で3・4年生が、5・6年生へ応援のエールをおくってくれました。4年生の応援団を中心に「フ



レーフレー北浦」「がんばれがんばれ北浦」等の声が響きわたりました。5校時は1・2年生も加わり全校児童から声援が送られました。

1～4年生にとってもハチマキをしめ、全力で競技する先輩の姿を見られたことはとてもよい経験になったと思います。

3 校内だから見えた「北浦小の力」

0.1秒、1cmといった小さな自己ベスト更新だった人もいたと思います。でも全力で取り組み、応戦してくれた人と一緒になって喜び姿をたくさん見ることができました。5・6年生もうれしかったと思います。校内実施でも仲間と一緒に競技したり、後輩から応援され、共に喜ぶことができたことは貴重な経験になったことと思います。



私は、児童の競技へ取り組む姿、応援する姿を見て、「本当にやってよかった。」と思いました。今後も感染症予防をしながらも、保護者の皆様に児童の活動を見ていただく機会を設定できるよう取り組んでまいります。御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

本校のニューフェイス紹介

3年2組担任 ○○ ○○ 先生

○○先生は大学を卒業されて、今年4月から新規採用者として本校に赴任された、まさにニューフェイスです。教員を目指すきっかけは小学校6年生時の担任の先生に憧れたことがきっかけだそうです。その先生は、授業では一人一人の学習の進み具合に応じて課題を用意してくれたり、自分で目指す目標を具体的に示してくれたりして、児童が進んで授業に取り組めるように工夫してくれました。また、担任として児童と交換ノートのような日記活動を行っていて、先生からの返事が毎回楽しみだったことが印象に残っているそうです。



北浦小学校の印象は、児童が何事にも進んであいさつをしてくれたり、学年関係なく話しかけてくれたり、とても温かい印象だと感じたそうです。担任する3年2組の児童は、とても明るく元気で、素直な子供たちで、お互いの気持ちを認め合える学級にしていきたいと話してくれました。今後は、タブレットPCを使った授業に積極的に取り組んでいきたいそうです。

そんな○○先生ですが、最近は車と料理にはまっているようで、車では友達とツーリングに行ったり、料理は家族のために夕飯を週3～4回作ったりしているそうです。詳しいことはご本人に確認してみてください。